

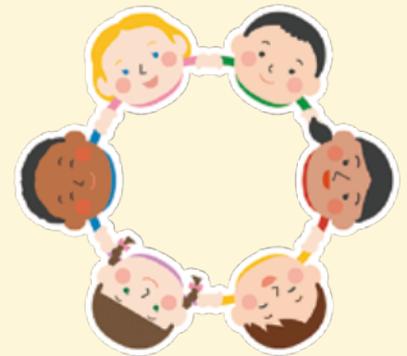
ひとみ

発行
相生市教育委員会
(人権教育推進室)
電話 23-7145
令和7年11月号
(第67号)

12月4日(木)～10日(水) は人権週間です

2025年は人権を考える節目の年です

2025年は、終戦から80年だけでなく、国際連合創立80年、同和対策審議会答申から60年、女性差別撤廃条約締結から60年、人種差別撤廃条約締結から30年等、現在の世界と日本の「平和」や「人権」について改めて考えることができる節目の年です。



また、本年度開催の大阪・関西万博では、35の国連諸機関と15の国連事務局が一丸となって国連パビリオンが開館されました。そして、国連80年の歴史、持続可能な開発目標（SDGs）の達成、世界的な課題や人道危機への対処に向けた取り組み、そして人々の行動と多国間協力によって実現できる「持続可能な未来」のビジョンが展開されました。

このような節目の年に、「人権」とは、誰にとっても大切なもの、違いを認めあう心によって守られるものだと考えてみてはどうでしょうか。

「人権」は、誰でも心で理解し、感じることのできるものです。

全ての人々がお互いの人権や尊厳を大切にし、生き生きとした人生を送ることができる共生社会の実現がめざされています。

法務省人権擁護局では、様々な人権問題を自分以外の「誰か」のことではなく、自分のこととして考え、人権を尊重した行動をとることのできるような啓発活動が展開されています。

人権の擁護

私たちの周りでは人権に関わる様々な問題が起きています。法務省では、このような問題に取り組むために人権擁護機関が構成されています。その中でも、人権擁護委員は私たちの街の相談パートナーとして、活動を行っています。

人権擁護委員とは

法務大臣が委嘱した民間のボランティアの方々です。人権擁護委員制度は、様々な分野の方々が、地域の中で人権尊重思想を広め、住民の人権が侵害されないように配慮し、人権を擁護していくことが望ましいという考えから創設されたものであり、こうした官民連携の取組は、諸外国でも例を見ないものです。

現在、約14,000名の委員が全国の各市町村に配置され、それぞれの地域において、経歴や専門分野をいかした積極的な活動を行っています。

(「人権の擁護」法務省人権擁護局より)

相生市の人権擁護委員の活動

【人権相談活動】

相生市では、原則偶数月の第2水曜日に相生市総合福祉会館101研修室で人権相談活動を行っています。相談日には、相生市の人権擁護委員が在室され、面談での人権相談に応じています。



【人権教室】

市内の幼稚園や高等学校を訪れ、紙芝居や人形劇、講演会等を通して、相手を思いやる優しい気持ちを育てる活動を行っています。



人権教育講演会(ネット安全教室)の様子
令和7年7月14日(月)兵庫県立相生産業高等学校



人権教育(紙芝居)の様子
令和7年7月15日(火)山手幼稚園

人権ふれ愛シネマ(相生市PTCA実践発表会第2部)

日時 12月6日(土) 13:40~15:40

※相生市PTCA実践発表会 13:00~13:35

場所 相生市文化会館扶桑電通なぎさホール(大ホール)

タイトル 夜明けのすべて(日本語字幕あり)

その他 入場無料



令和7年度 相生市内在学の児童・生徒による人権作品の紹介

★人権作文の部 特選受賞者と作品

特選受賞者

小学校

学校	学年	氏名	作品名
那波	1	秋田 紗璃	こころがいたくならないために
双葉	2	宮地 澄空	みんなそれぞれ大切
青葉台	2	浜村 篤希	みんなともだち
双葉	3	山田 一華	友だちの言葉にゆう気をもらって
相生	4	佐々木 葵	あいさつは心のつながり
中央	5	岡田 和果	ヘアドネーションをして考えたこと
中央	6	山本 翔月	ぼくらしくいるために



中学校・高等学校

学校	学年	氏名	作品名
那波	1	伊原 琴	情報に惑わされず、人を思いやる気持ちを最優先にしたい
矢野川	2	杉本 晴紀	「命」の大切さ
双葉	3	金碓 拓海	身近な人権を大切にすること
相生高	2	高室 瑠奈	手を差し伸べた先に
相生産高(全)	3	庭田 美愛	プラスチックと私たちの暮らし

みんなそれぞれ大切

双葉小学校2年 宮地 澄空

ぼくにはお気に入りのふくがあります。それは、白とみどりのしましまのふくです。どうしてお気に入りのふくかというところ、白とみどりのしましまがスイカみたいでかわいいからです。

ある日、学校にそのふくをきて行くことにしました。お気に入りのふくをきて、うきうきしながら学校へ行きました。でも、学校につくと友だちに、

「パジャマみたいやー！」

と言われてしまいました。しましまがスイカじゃなくてパジャマみたいと思われたようです。そのとき、うきうきしていた気もちがしぼんで、少しおちこみました。パジャマじゃないのに。スイカみたいでかわいいふくなのに…。すると、ほかの友だちが、

「パジャマにみえないよ。」

と言ってくれました。しましまがパジャマに見えない子もいるんだとほっとしました。

ぼくにとってスイカみたいなかわいいしましまのふくが、友だちによってパジャマのしましまもように見える子もいました。ぼくと友だちでかんじ方がちがうこともあるんだなと思いました。同じしましまがスイカに見えたりパジャマに見えたりするなんて、だんだんおもしろくなってきました。おもしろくてそれぞれかんじ方がちがってもいいなと思いました。そのことに気づいたら、おちこんでいた気もちがふつとびました。これからは、じぶんのかんじ方と友だちのかんじ方がちがっても、おちこまないです。ちがっておもしろいなって、どっちのかんじ方も大切にしていきたいです。

身近な人権を大切にすること

双葉中学校3年 金碓 拓海

ある日、クラスで友達と何人かで話していたときに、一人の子が別のクラスメートの見た目や話し方などについて、からかうようなことを言っていました。周りの友達も笑っていて、僕もなんとなくその場の空気に合わせて笑ってしまいました。でも、言われていた子の顔を見ると少し困ったような、悲しそうな表情をしていたのを今でも覚えています。後から、「あれでよかったのかな」と自分の行動について考えるようになりました。

「僕が笑ったことで、言われた子は『みんな同じように思っているのかも』と感じたかもしれない。もし、あのときに『そんなこと言わなくていいじゃん』と一言でも言えていたら、少しは違っていたかもしれない。」

そう思うと自分の無意識の行動がその子を傷つけてしまったのではないかと、とても後悔しました。

人権というと、ニュースで見えるような大きな問題や、世界で起きている戦争や差別を思い浮かべることが多いと思います。でも、私たちの周りにも、実はたくさん「人権」があります。友だちをからかったり、無視したり、見た目や家庭のことで笑ったりすることも、その人の大切な人権を傷つける行動になるのだと気づきました。

人には見た目、考え方、感じ方、話し方、家庭の環境

や育ってきた背景などにそれぞれ違いがあります。しかし、どれもその人を形作っている大切なものです。その違いを認め合い、お互いを思いやるのが身近な人権を守ることにつながるのだと思います。

僕自身、これまで「自分は関係ない」「見て見ぬふりをすればいい」と思ってしまうことがありました。でも、それは人権を守ることから逃げていたのだと思います。たとえ小さなことでも、「それは言いすぎじゃない?」「やめておこうよ」と言える自分になりたいです。もちろんこれはとても勇気がいることだと思います。でも誰かが声を上げなければ、傷つく人はずっとそのままかもしれません。

人権を守るというのは、特別な人だけがやることではありません。一人一人が意識して小さな行動を積み重ねていくことが大切なのだと思います。僕も自分にできることから始めていきたいです。周りの人の話をよく聞いたり、困っている子に声をかけたり、普段の言葉づかいに気をつけたり。そういった一つ一つの行動が人の心を守ることにつながるのではないのでしょうか。

これからも身近なところから人権について考え、自分の言動に責任を持てる人になりたいと思っています。

★人権ポスターの部 特選受賞者と作品



双葉小1年 藤本 陽



矢野小2年 三上 楽生



若狭野小3年 山田 咲那



相生小4年 内海 舞音



矢野小5年 佐々木 葵



双葉小6年 大田 悠乃



中央小6年 石原 孝一郎



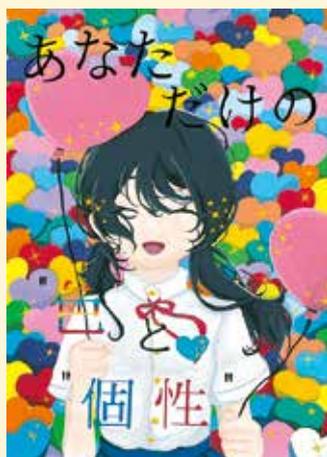
双葉中1年 北村 悠人



矢野川中2年 山崎 音愛



那波中3年 村上 千奈



那波中3年 高田 おと



双葉中3年 大内 彩葉



双葉中3年 竹内 那々子

★人権標語の部 入選受賞者と作品

「じゅんね」の言葉ひとつで	すくわれる	相生小	5年	谷岡	美桜	
思いやり	そこから広がる	みんなのキズナ	那波小	5年	横山	愛菜
支えるよ	仲間がいるから	大丈夫	双葉小	5年	永田	采楓
差別しない	平和な世界	明るい毎日	若狭野小	5年	濱口	大誠
その言葉	いじりじゃなくて	いじめだよ	矢野小	5年	後藤	至祐
ありがとうは	私の心の	たからもの	青葉台小	5年	八尾	侑空
自分らしさは	かがやく明日への	かけ橋だ	中央小	5年	村本	直義
見つけよう	自分の色と	相手の色	相生小	6年	濱本	大悟
心のキズ	言われた側は	消えないの	那波小	6年	中林輝之助	
この世界	人の個性は	宝物	双葉小	6年	阿賀	優奈
その言葉	だれかをきくと	きずつけているよ	若狭野小	6年	稲本	千紗
その言葉	本当にいいか	確かめて	矢野小	6年	大浦	美空
わすれないで	つまれてきただけで	すばらしい	青葉台小	6年	山本	明里
忘れないで	あなたの言葉で	変わる未来	中央小	6年	長棟	俊弥

一人じゃない	あなたを包む	心の輪	那波中	1年	栗山	優奈
ありがとう	みんなにつたえ	ここにこそ	双葉中	1年	志摩	虹呼
それいじめ	見て見ぬふりの	エセ正義	矢野川中	1年	長治	すず
SNS	本当にいいの？	その言葉	那波中	2年	片山	大雅
届けよう	心に響く	思いやり	双葉中	2年	前田	咲希
1色じゃない	多彩な世界が	美しい	矢野川中	2年	寺田	壮佑
みんなの声が届く社会へ	人権を守るのは私たち		那波中	3年	酒井	弥来
優しさの	ひとつひとつが	花になる	双葉中	3年	安田	莉里
「ちがう」って	君にしかない	「個性」だよ	矢野川中	3年	二見	琉以
知らぬ間に	広まる情報	戻らぬ信頼	相生高	1年	鈴木	渉太
違いこそ	ともに生きる	宝物	相生産高(定)	1年	小林	泰希
見ないふり	あなたの心は	見ているのに	相生高	2年	高橋	大蔵
何気ない	家族の会話が	たからもの	相生産高(全)	2年	吉田	周世
その一言が	だれかの明日に		相生産高(全)	3年	柳田	涼
SNS	書き込む前に	再確認	相生産高(定)	3年	小倉	律
あだなでも	場合によれば	いじめだよ	相生産高(定)	4年	坂越	唯希

つながいのあたたかさを感じる絵本の紹介

「わすれられないおくりもの」(評論社)

スーザン・バーレイ/さく え 小川 仁央/やく

誰からも頼りにされ、慕われていたアナグマが死んだ。かけがえのない友を失った悲しみに、みんなはどうしていいかわからない。でもアナグマは、野原のみんな一人一人に、すてきな贈り物を残していった…。死んで身体がなくなっても、心は残ることをやさしくあたたかく伝えてくれるお話です。



「しんせつなともだち」(福音館書店)

方 鞆鞆/作 君島 久子/訳 村山 知義/画



食べ物が無い寒い冬の事です。お腹がすいたうさぎが、かぶを二つ見つけました。一つだけ食べて、もう一つを同じようにお腹をすかせているろばに届けますが、ろばは留守でした。うさぎはろばの家にかぶをおいていきます。家に帰ってきたろばは、かぶにびっくりします。ちょうどさつまいもを手に入れたばかりだったろばは、かぶを今度は山羊に届けます。

思いやりの心をのせたかぶが、動物たちのもとをめぐるお話です。

「ひとりひとりのやさしさ」(BL出版)

ジャクリーン・ウッドソン/文 E.B.ルイス/絵 さくま まゆみ/訳

ある朝、クローイのクラスに、転校生のマヤがやってきた。クローイは友だちと、マヤのみすぼらしい身なりや、変なお弁当を笑い合う。そんな日が何日も何日も続いた。そして、ついにマヤは学校に来なくなった。

担任のアルバート先生は、水の入った洗い桶に小石を落とし、やさしさについて話し始める…。その時、クローイは…。

新しい友だちとの出会い、無視し続けた日々、とまどい、後悔……。多感な少女の心の動きが丁寧にすくいとられた作品です。



「花さき山」(岩崎書店) 斎藤 隆介/作 滝平 二郎/絵



山菜を採りに山へ入り、道に迷って山ンばと出会ったあや。その山ンばは、そこにひとりで住んでいるという。山ンばの足元には、一面の美しい花が咲いている。ふもとの村のにんげんが、やさしいことをするとひとつ咲くという花さき山の感動の物語です。

そして、この絵本を強く印象づけるものが、滝平二郎さんの切り絵です。切り絵で表現された本当に美しい場面は、読む人の心に残るはずです。

ここに掲載している絵本は相生市立図書館で借りることができます。

人権クロスワードパズル

このクロスワードパズルを解き、ABCDに入る文字を順に並べてできる言葉をお答えください。

【 答 え 】「○○○○○」

人と人との間において大切にしたいです。

【プレゼント】正解者の中から抽選で、「こころカレンダー2026」を50名に進呈します。

【応募要領】はがきかFAXかメールで、以下のことを記載の上、応募ください。

(上記が難しい場合は、電話も可)

- ①クロスワードの答え ②郵便番号
- ③住所 ④名前 ⑤電話番号
- ⑥年齢 ⑦本誌へのご意見・ご感想

※応募の際に得ました個人情報につきましては、プレゼント発送以外では使用いたしません。

【しめきり】令和7年12月4日(木)《必着》

【 応 募 先 】〒678-0031 相生市旭1丁目3-18

相生市教育委員会人権教育推進室

電 話 0791-23-7145

FAX 0791-23-7148

メール jinkenkyoiku@city.aioi.lg.jp

1		2		3	4
C	A				
		5	6		
7	8				
9		10		11	
		12			
			B		
13				14	
	D				



2026こころカレンダー

《タテのカギ》

- 1 家庭で行われる造園や園芸、英語では園芸や庭造り
- 2 北極点に向かう方位、英語では「ノース」
- 4 乾燥させたブドウの果実、干しぶどうともよばれる、ドライフルーツの一種
- 6 やき○○、大学○○、○○けんび
- 8 英語ではソルト、調味料としては欠かせませんが、取り過ぎには注意
- 10 腹をたてる、憤る、激昂する
- 11 煮た大豆のしぼり汁を固めた加工食品、木綿○○○、絹ごし○○○

《ヨコのカギ》

- 1 音楽に使用される音を出す器具、打○○○、弦○○○、管○○○、鍵盤○○○
- 3 考え方や感じ方などに少し隔たりがあること、食い違い
- 5 キッチン○○○○、セルフ○○○○、時間を測る
- 7 師について学問や技芸の教えを受ける人
- 9 空気中を漂ってきて嗅覚を刺激するもの
- 11 重さの単位、記号は t
- 12 願いが○○○、思いどおりに実現する
- 13 オープンと○○○の違いは加熱方法にあるそうです ○○○は焼き網のこと
- 14 突然であること、思いがけないこと、全くなくなること、だめになること、むだな結果に終わること ○○○うち

